

茅野市子育て応援アンケート 中間報告 VOL.1



2023年8月31日
どんぐりネットワーク茅野
アンケート班集計

報告目次

- 1 アンケート概要・属性
- 2 主なコメント
- 3 アンケート班のアイディア
- 4 第三次どんぐりプランへの反映事項



アンケート概要

当資料集計期間

2023年6月20日～2023年8月31日

対象者

市内在住の子育て家庭・子育て応援

配布場所

保育園・小中学校 SNS 各公共施設
口コミ 各種団体へ依頼

回答方法

QRコードからGoogleフォームを利用

回答数

207件（8/31時点）

「子育てしやすいまち?」「子育てしてよかったまち?」
茅野市子育て応援アンケートにご協力ください!

0から3歳の子育ての
支援拠点
「0123なほ」

市民と行政が話し合い
子育ての施策が
実現してきました

「茅野市子育て・
子育て支援サイト」
できました

中継生の居場所
「HUKUらんど子/千」
できました

子育ての相談支援拠点
「育ちあひ ちの」の設置

地域の子育て拠点として
「地区こども館」
できました

みんなの声を 茅野市の子育てに 活かしましょう!

今回のアンケートは、どんぐりプランの見直しや次期計画策定に活かしていきます。子育て環境の変化、社会状況を踏まえ、現状を把握するために子育てに関わる人々の声を集めることを目的としています。あなたの子育てに関する経験や意見をお聞かせください。

茅野市子育て応援アンケートは
こちらから▶▶▶

例えば…ここ20年間の変化
平成14年の出生数 令和4年の出生数
619人 ⇒ **299人**
(どんぐりプランが生まれた年) (茅野市の過去最少)

「どんぐりプラン」ってなに?
茅野市が官民協働で策定した「茅野市こども・家庭応援計画」の愛称です。市民と行政が協力して、茅野市の子どもたちが「たくましく・やさしい・夢のある子ども」に育つよう取り組んでいるものです。平成14年に第1次どんぐりプラン、平成22年に第2次どんぐりプラン、平成30年に第3次どんぐりプランが策定されました。

企画 どんぐりネットワーク茅野 子育てに関する市民応援部会
問合せ どんぐりネットワーク茅野事務局 茅野市役所こども課こども係
電話 72-2101 (内線612)
メール dongurinettowakumayo@gmail.com

どんぐりネットワーク茅野 検索

アンケートの内容

質問 1

茅野市の学校や保育環境について

質問 2

茅野市の子育て環境や行政サービスについて

質問 3

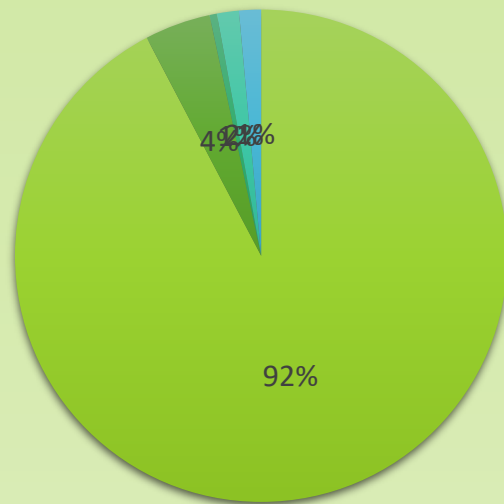
茅野市にある施設について

質問 4

その他の困りごと・課題やアイデアを教えてください。

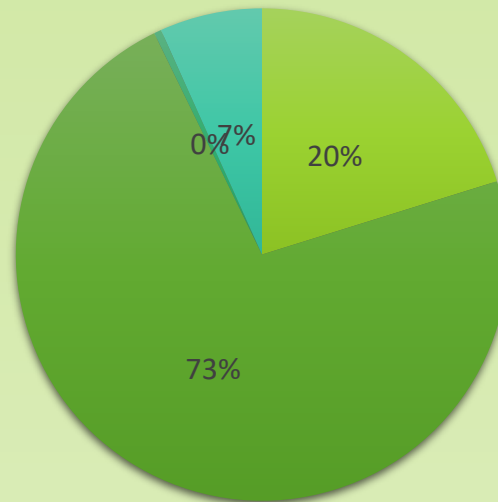
アンケート回答者の属性

あなたの立場



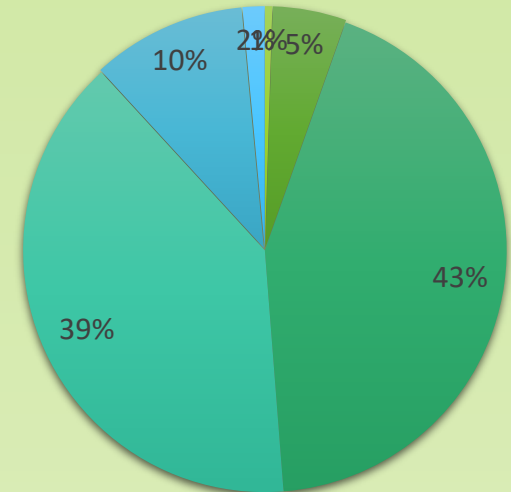
- 保護者
- 子育て応援者・地域住民
- こども・学生
- その他
- 無回答

性別



- 男性
- 女性
- その他
- 無回答

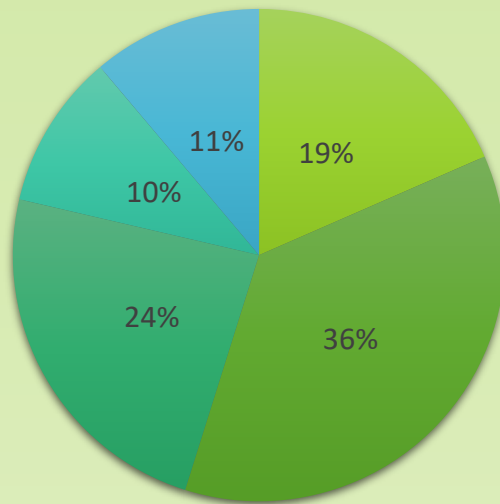
年代



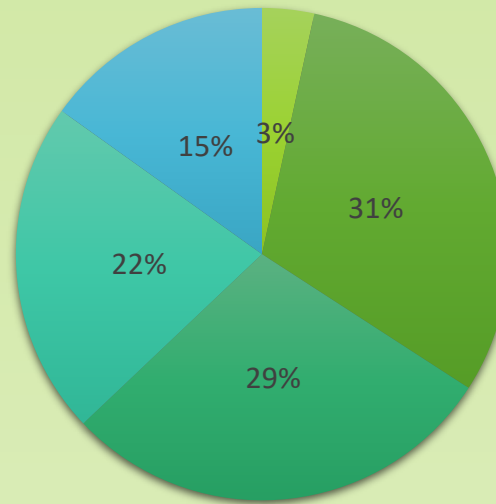
- 10代以下
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- その他

各項目の満足度

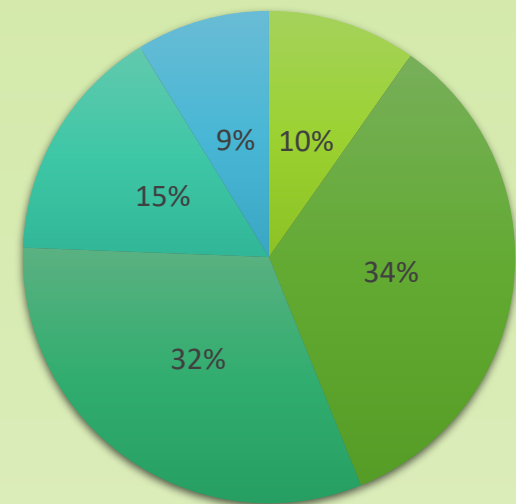
質問① 茅野市の学校や保育環境について



質問② 茅野市の子育て環境や行政サービスについて



質問③ 茅野市にある施設について



- 良い・満足している
- まあまあ良い・満足している
- 普通
- 少し不安・不満がある
- 不安・不満がある

アンケート集計の解説

【回答数】

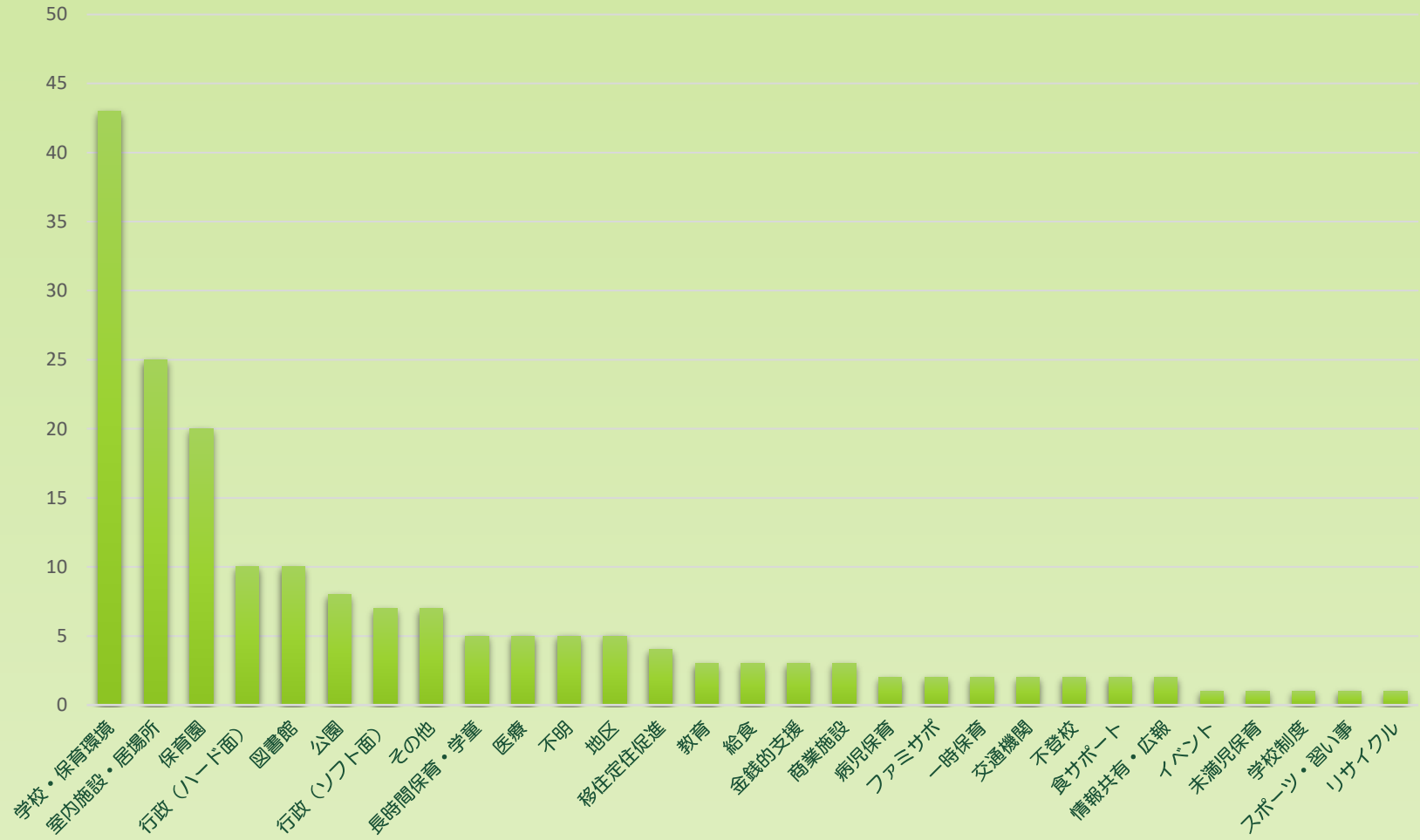
207件分（8/31時点）

【グラフの集計方法】

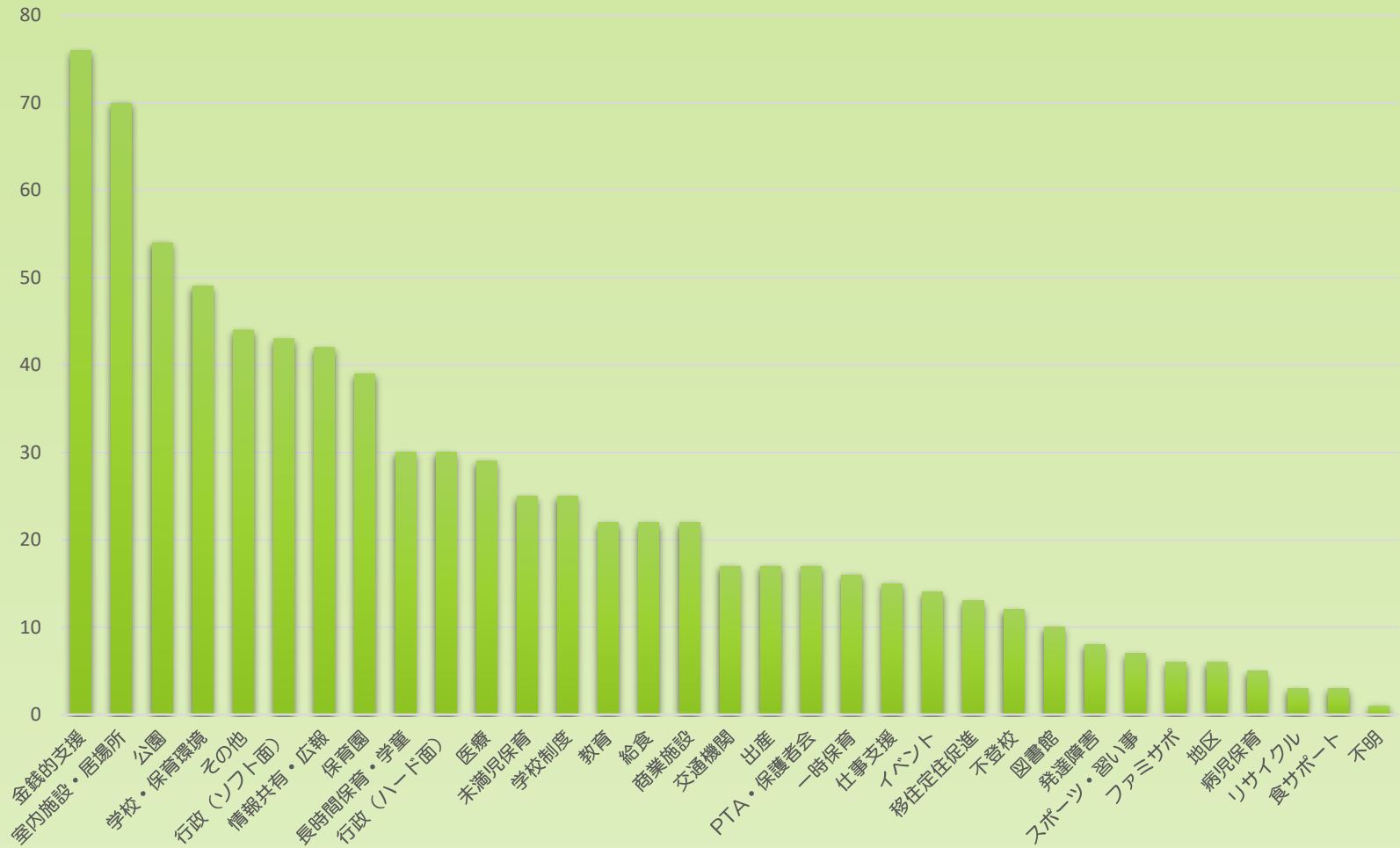
1つの回答につき、“良い” “課題” の内容であるかのカテゴリ分けし、回答内容に様々なキーワードがある場合、コメント毎にタグ付けを行いその属性を集計してグラフ化しています。

“良い” 185タグ “課題” 805タグ

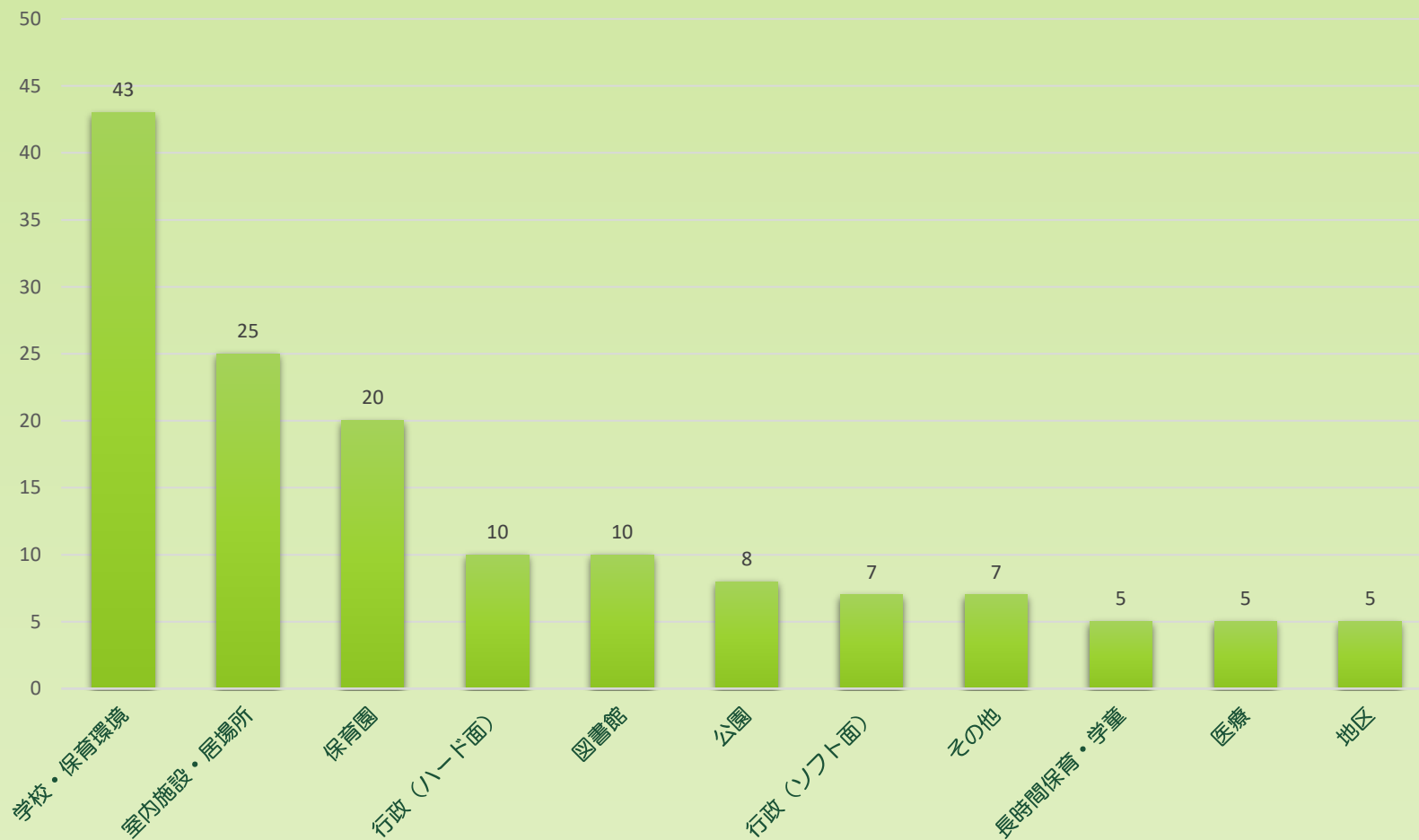
茅野市子育ての魅力：185タグ



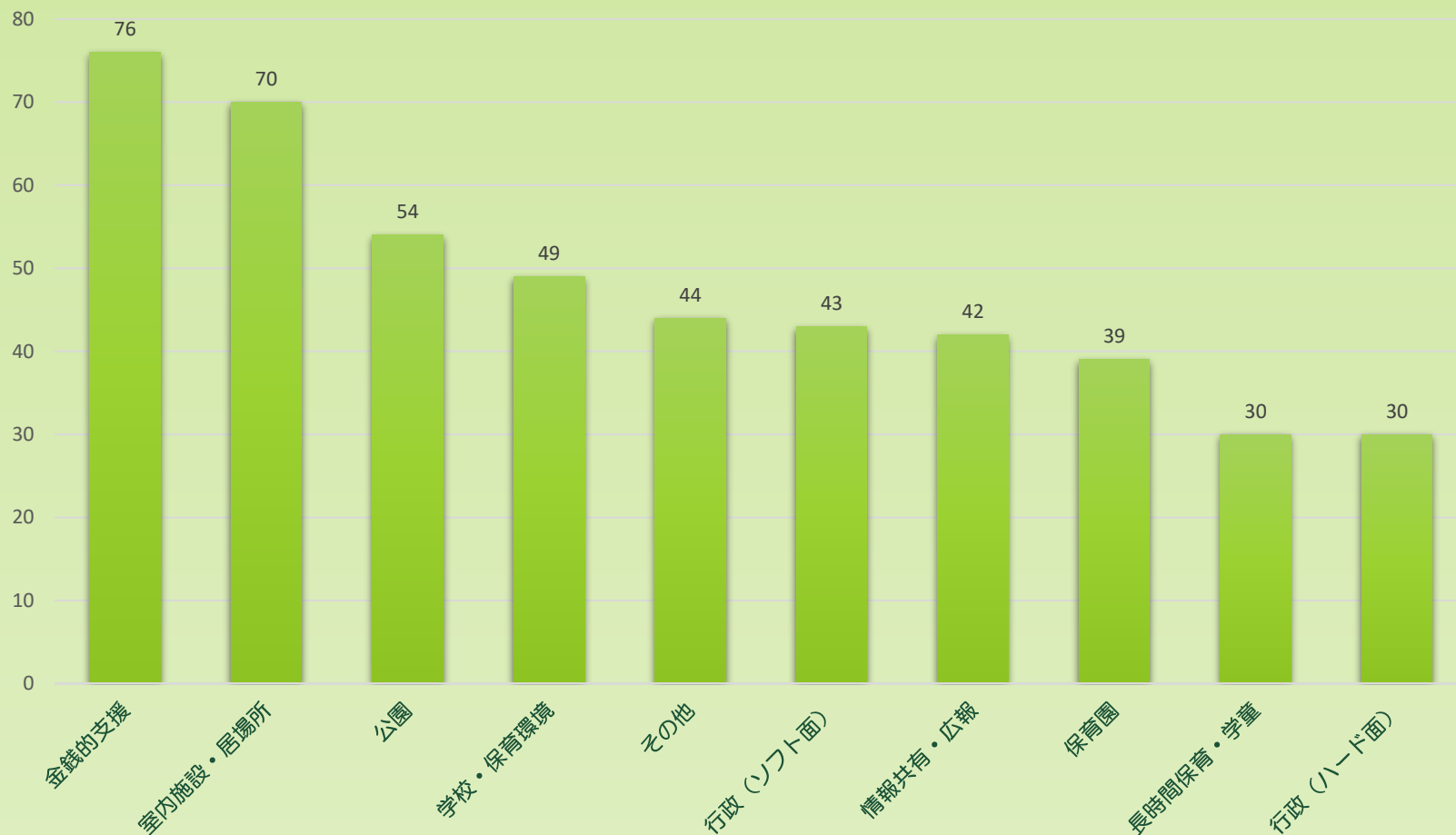
茅野市子育ての課題：805タグ



茅野市子育ての魅力ベスト10：150/185タグ



茅野市子育ての課題ベスト10：477/805タグ



報告目次

- 1 アンケート概要・属性
- 2 主なコメント
- 3 アンケート班のアイディア
- 4 第三次どんぐりプランへの反映事項



子育ての魅力①（主なコメント）

学校・保育環境

教員のばらつきもあるが、子供達の様子を把握し、少しでも変わったことがあれば気付き、すぐ対応されているため、**子供の信頼も厚い**。校長も、**保護者の意見に真摯に受け止め、対処**していただいている。

先生方との距離感が近いため、子供の相談等しやすい。

気分がのらなくて時々欠席する中学1年生の息子がいます。担任の先生をはじめ学年主任～校長先生が**生徒1人1人の気持ちと家庭の考え方に耳を傾けて下さっています**。有難いし素晴らしいな、と思います。

室内施設・居場所

O123子ども広場や地区子ども館や子ども病児病後おやすみ館など、とても恵まれていて有難い。O123広場は使いやすい。相談会では月1で身長体重測れて良い。

O123など**子供達や親の交流ができる場所**があり助かりました。雨の日などは本当にたすかりました。

18歳まで居場所があるのはとてもいい。

保育園入園前に、地区こども館に遊びに行っていました。**アットホームな雰囲気**と少人数で、コロナ禍の間も利用しやすかったです。

子育ての魅力②（主なコメント）

保育園

子供達が不安定な気持ちであっても、日々のルーティンを含め先生方がいてくださっているから安心して登園しております。先生方がいてくださっている**安心感**は本当に変え難く心の支えとさせていただいております。

泥んこ遊びや、畑での野菜の収穫など、**家ではできないことをたくさん経験**させてもらってる。

園の雰囲気がよくて満足している。

行政（ハード面）

施設がひとつとおりそろっていてありがたいです。

現状、**たくさんの体験や学びの場があって良い**と思います。そのような場所に参加しない=関心がない、というだけではないです。なぜ参加しない、できないのかを踏まえながら強制しない地域協働であればいいと思います。

図書館

図書館が充実していて、**他の場所でも返却できる**のもありがたい

公園

自然豊かで**多種多様な公園も整備**されていて、良い。



子育ての課題：金銭的支援（医療・給食・支援金・保育など）

給食費・18歳までの医療費の無料化

他の市町村と比較すると、若者重視で、あまり子育てに重点を置かれていない、**給食の無償化や医療無料化はかなり遅れている印象**をうける。持ち家がないと、茅野市ではなく、他市町村への引っ越しも検討してしまう。

18歳までの医療費の無料化

他の市町村は**高校生まで医療費補助**があるのに、茅野市はないので、すぐにでも隣接の市町村と同じにしてほしい。

保育園の白米持参

子どもたちの安全や健康を第一に考えて再度検討していただきたいです。今まで何もなかったから…ではなく、確実に状況が変わってきていて、気温の上昇や、**家庭の経済状況によってはその日炊いたご飯を持参できずにいる子**もいるのではないのでしょうか。

支援金の支給

子供の助成金配布を**所得制限無し**にして欲しい。

出産に対する補助

出産準備品の提供があると嬉しいです。（おむつ、お尻拭き等簡単なものでも）

保育料の減免、未就園児の保育料

未満児の保育料が高すぎます。東京都のように**第2子以降、所得制限なしで無償化**等の対策がなければ少子化に歯止めがかからないのではないのでしょうか。

子育ての課題：室内施設・居場所

体を動かせるこどもの遊び場（主に室内）

のびのび遊べる場所があると嬉しい。**0123広場は良かったです。しかし4歳になった途端に路頭に迷いました。**猛暑や雨天でも、少し大きくなった幼児や小学生が、体を動かして遊べる場所が欲しいです。

異年齢交流の場

先輩ママや子育て終えた年代様々が交流できる場、社会全体で子どもやその親をサポートする雰囲気のある茅野市にしたい

長期休暇時の学校開放

熱中症予防の観点から、今年は夏休み中の学校プールが解放されないと聞いています。学校にクーラーが設置されて避暑できるようになったので、夏休みが元々何のためにあるのか考えると今年の方針には疑問が残ります。**涼しい時間帯に登下校させ、午前中は教室解放(授業なし)、午後はプール解放というような日課**は組めないのでしょうか？

産後のお母さんの居場所

妊婦・産後直後の方々がこれる助産師や保育士がいる施設が欲しい。産後入院、一時避難ができる場

商業施設などでの子育て施設（土日）

児童館は午後は小学生などが多く、土日祝はほとんどお休みです。**オギノさんのような大型のお店の中にそういったスペースを設けて頂けると**買い物も出来てとても便利だなと思います。

子育ての課題：子育てと仕事との両立①

行事等親の負担

行事や参観日が多く、親が出る場面も多いため働く親にとってはしんどい部分もある。保育園の預り時間が短く、休日保育もないため、仕事しづらい

PTA・保護者会活動の在り方

保護者会、PTA、地区・・・と、役員をやる回数が多く、頭を悩ませています。子供のために頑張りたいのですが共働きが当たり前の世の中なので、**もう少し在り方や活動内容を見直すべきか**と感じます。

PTA活動と伝統的な行事の在り方

小規模の学校なのでPTAなど保護者の負担が大きすぎて大規模の学校との不公平感を感じる。**校庭スケートリンクの整備も大変**なのでやめて欲しい、ナオアイスオーバルでいいのではないかという声もかなり出ている。

社会状況の変化における意識の違い

親の参加有きは納得いかない。関東では保育園も小学校も親が働いていることを基本として、PTAや保護者会、親の関わる行事など考えられていた。茅野市の親や祖父母あって当然の体制は古いし、やり切れない。正直40～50年前と保育園のお迎え時間が変わっていないことに愕然とする。

地域活動の子育て世帯への負担軽減

衛生自治会やその他の会合、保険指導員の活動等の時間がちょうど子育て世代のゴールデンタイム過ぎてしまい、苦しいです。有給も使わなければですし。子供が大きくなったら全然やらせてもらいますので、**子育て世代の参加負担を減らしていただけないでしょうか？**

子育ての課題：子育てと仕事との両立②

子育て家庭への企業理解

子育て期間の仕事について、**職場での理解促進**を行政から積極的にはたらきかけて欲しい

移住者とPTA活動や地域活動

地縁による結びつきが強く、小学生のPTA地区役員や各地区の仕組みなどが、**移住者にはわかりにくくとてもプレッシャー**になる。

行政サービスの柔軟対応

学童クラブに 通わさせて頂いているのですが、土曜日、日曜日が 出払いなどがあると困っております。自己責任でも構わないので、**シルバ人材さんなど 活用**を検討して頂けると 有り難いです。

業種によるニーズに合わせた子育て支援

観光地の為、観光業やサービス業も多いので、土日や休暇時の子どもをお願いできる場所を充実させて、就労の幅を広げて欲しい。興味や募集があっても、難しい状況にある。ファミサポもマッチングが難しく、利用できない。保育園の一時預かりも、すぐに枠がいっぱいになってしまう

保育園の目的

保育園は親が見られないから預けているのに、保育園に行くことによって余計に親に負担になる行事などがあり、保育の本質からかけ離れている。かつて「おにぎりの日」が「親の愛情を感じられるように」との理由であったが、おにぎりですら親の愛情は測れない。おにぎりを作る手間のせいで朝から家庭がイライラして本末転倒である。

子育ての課題：子育てと仕事との両立③

保育園・保護者が双方が負担にならない施策

保育料が高く、頑張ってフルタイムで働くのがシンドイと感じます。荷物が多くて、子供を抱っこして駐車場まで移動するのも大変です。オムツ持ち帰りなしは大変有難いですが、**お布団レンタルやオムツサブスク**なども検討頂きたいです。

保護者同士の協力（学生服等のリサイクル）

制服や体操着の交換会をしてほしい。

延長保育や学童の経済的負担への補助

夫婦共働きなので、**延長保育や学童**にはお世話になりました。**利用料金に対して補助**があると更に利用しやすくなると思います。

ファミリーサポート事業

ファミリーサポートを利用したいが、とても利用しづらく、申し込みですら行けずに1年以上過ぎた。平日の役所があいている時間には仕事で行けない。土日や学童が終わる時間より遅い時間に子どもを預けられる場がなく共働きで夜に子どもを連れて仕事をすることもある。

仕事の両立に対しての母親の課題

本当に本気で考えていかなければいけません。男女共に労働力となる、などと言うのであれば**女性の課題を考えるべき**ですし(不妊、流産、死産など)、移住促進の観点からも子育てしやすい、暮らしやすい大きなキーワードとなります。

子育ての課題：学校・保育環境①

先生方の負担

保育士の確保が大変ではと端から見て思います。学校、保育園の保護者対応は年々大変さを増す中で、保護者と先生、保護者同士の関係もより希薄化していると思います。無理ない範囲でうまくつなげられるといいと思います。親の保育士体験は継続して欲しいです。

保育士・先生方の負担

保育園は行事に追われて先生方が疲労困憊にみえるので、行事を減らして日常の豊かなものに目を向ける形にしたら、イライラしないで子供に接することができるのではないかと感じています。

学校のDX化

学校のお便りプリントを電子化してほしい。クラウドで共有でもメールでもアプリでもいいので。懇談会の日程調整もスマホでできれば先生方も集計楽なのに…紙も勿体ないリモートなどがもっと活発になるといいなあと。

保護者との関係

幼稚園では、先生方の関わりが温かく丁寧にいただけている。学校では、なかなか先生との関わりがなく、子どもが日常どんな生活を送っているのか、学校側（先生側）からの、我が子の姿や印象はどうなのか何もわからないまま1年が過ぎていく感じ。

児童数の減少への不安

自分が小学生だった頃と比べると、明らかに児童数が少なく、ひとつひとつの行事が縮こまっているように感じます。1学年に1クラスだと、どうしても子どもの視野が狭くなりがちなので、世間(地域の人々)や他校の同級生と触れ合う機会がたくさんあると嬉しいなあと思います。

子育ての課題：学校・保育環境②

施設の共有

保育園に大きなプールが無い場合、**近隣の小学校や施設に借りられる**と良いと思う。

施設の安全確保

防犯対策のため保育園入り口にロックがあるけれど機能的か疑問。送り迎えのときにも開閉しづらく不便。園児を閉じ込める印象なのも嫌。防犯上機能的かつ親子にとって威圧感のないものにできないでしょうか？（**施錠とインターフォン**にするとか）

施設の配慮

教育の内容などに不満はないが**セキュリティが甘い印象**を受ける。今の時期、水泳の授業が校庭から丸見えなのが気になる。

保護者の負担軽減

未満児で子供を保育園に出していますがエプロンとお手拭き、それを入れているポーチが衛生的ではなく毎日の洗濯と漂白が大変なので使い捨てのお手拭きやエプロンにしてほしい。保育園の持ち物の多さが大変で、週はじめの朝だけでも、車から荷物を一緒に運んでくれる人がいたら…と何度も思った。

特色ある教育への取り組み

学校での教育については他の地域や都道府県と比較して選択肢が少なく充実していません。他県の知人から移住について聞かれることがあります、子どもの進学先という点で選んでもらえません。**勉強やスポーツに特化した教育プログラムや、大日向小の様な特色のあるプログラム**を考えてもらえたらと思います。

子育ての課題：不登校・発達障害児

多様性を理解する教育

一人一人を大切に思い合い、否定せず、**違うことは当たり前だということを大事とする教育**にシフトして行ってほしいです。不登校をはじめ、学生の自殺者が増加している現実には、根本的なこともあるかと思います。フリースクールや自然学校に行かせたく、調べていますが、結局は根本的になおなさければならず、公立で改革してください。

多様性への支援者

一斉保育、一斉教育により取り逃がされてしまう子に対する**手厚いサポートができる理解ある知識を持った人材が不足している**

不登校児の居場所

学校へ行かない選択をしている児童・生徒が日中身を寄せられる場が増えるといいなと感じます。また、その場を提供したり携わるスタッフさんにも手当がきちんと出るといいなと感じています。ボランティアだと先細りします。かつ、様々なタイプの居場所があり選択肢が増えると更によいとおもいます。個人や家庭の方針も多様化しているので行政もそれに沿った政策と対策をして頂きたいなと感じます。

発達障害児への理解

発達に問題がある子など支援がまだまだ足りない。

発達障害児の医療

発達障害の病気受診まで約1年 茅野市にもお医者様が居たら助かります

子育ての課題：ハード面①（公園、図書館など）

大きな公園

茅野市は子供も多いので、もっと**のびのび遊べる大きな公園**がほしい。塩尻のアルウェン公園みたいな公園があるとみんな行きたいと思えていいと思う。

公園の充実

公園を増やしてもらいたい。小さくてもいいので、子ども達だけで行けるような距離に各行政区毎にあったらいいと思う。**公園の遊具が古くなってきているので、新しくしてほしい**。子供が遊べる公園を増やしてほしいです。

人が行きたくなる図書館

富士見の図書館や、他の図書館を参考にいただき、**一日中いたくなるような図書館**にしてください。明るい、外と室内が隔てがない、**小さな子供が居やすい環境**。また、おおきなコワーキングスペースなどがあると活性化するのではないのでしょうか。富士見にある森のオフィスなど参考にしてください。

ニーズにあった施設運営

子どもが勉強したりする時に図書館を良く使いましたが、年末年始など開いていて欲しい時に開いてなかったり、もう少し子どもに寄り添った施設があると助かります。

子育ての課題：ハード面②（交通手段など）

施設の老朽化

公民館の老朽化が進んでいるが、市からの支援や指導をして頂きたい。

交通手段

のらざあ、は意外と使える。もっと利用者増えて利用料が下がって、学校の帰りにも使えるといいなあ。今は丁度よい時間のバスがないので。

交通手段

車で送り迎えが必須であり、つい親と子のみのコミュニティに陥りがちと思う。子が自由に行動できたらいいなあ。のらざあやバスの利用が便利になったり、歩道や自転車道が整備されたり、カフェや本屋や図書館が増えたり。高齢者やいろいろな人とふれあえる場所として、図書館や公園に何か仕掛けが有ればいいな。素敵なベンチが増えるとか。

通学路の整備

小中高生が帰宅で使う道路はもっと街灯の数を増やしてほしい（冬は暗く迎えが必要）

財政面への不安

お金のかかるハードは増やしてほしくない

子育ての課題：ソフト面・情報共有・広報

子育て情報の一元化

ベビーシッター、チャイルドシッター、ゆいわーく、家庭教育センター、コミュニティセンターなどで行っているお稽古ごとやサークル活動をもっと調べやすく、見つけやすいように、**市HPなどのネット上で一元掲示**してほしい。

子育て相談窓口とその周知

24時間対応している子育て相談が大変にありがたかったです。夜間に不安になることが多いので、夜間にも話せる場所があるというのは、心の支えになる。実際に使ったのは1回だけだけど、本当に感謝しています。でも、**自分では知らなくて、県外の友人が茅野市のホームページで調べて教えてくれて知りました。**もっと早くに知りたかったです。

気軽な相談窓口

不登校や、五月雨登校などの**相談窓口**が沢山あると嬉しいです。

相談後のつなぎ

相談してくださいと資料にあるもののいざ相談しても傾聴に留まり手立てがないと感じる。

有料子育てサポート

色々とサポート案を提案していただいているが費用をかけてやる価値があるのかわかりにくい
ため、まずは**年間5回利用できるチケット**のようなものを配っていただいて利用を試せるような制度を導入してほしい。

報告目次

- 1 アンケート概要・属性
- 2 主なコメント
- 3 アンケート班のアイディア
- 4 第三次どんぐりプランへの反映事項



アンケート班のアイデア その①

課題

- ① 子育てに関わる金銭的な支援
- ② 子育てにかかる日常品などを含む支援や応援

アイデア

行政 各年代に応じた支援を検討・実施

どん ニーズ調査や子育て懇談会の実施・広報活動・提言

市民 リユース事業など地域応援、企業への協力や働きかけ

【予想される効果】

子育て中の家庭のニーズを提示することにより、支援の方法を検討し、それにあわせた市民による応援活動（ボランティア）へつなげていく。



アンケート班のアイデア その②

課題

- ① ニーズにあった野外や室内の子育て拠点・居場所
- ② 民間も含めた子育て拠点。異年齢交流の場

アイデア

行政 現行の子育て拠点の整備、あり方の検討

どん ニーズ調査および行政や民間・企業とのつなぎ・意見交換

市民 拠点での応援活動、商業施設などでの子育て支援事業



【予想される効果】

現行稼働している子育て拠点の在り方を検討し、各地域の事情にあった運営、集約化を図ることによって、子育て中の家庭のニーズにあった柔軟応援体制を行い“地域での子育て”を実現する。

アンケート班のアイデア その③

課題

- ① PTA・保護者会活動や行事の負担
- ② より良い学校・保育環境の再構築

アイデア

行政 学校・保育環境の整備、多様化する教育への対応

どん 各子育て団体（P連、保護者会）へ情報提供・意見交換

市民 コミュニティスクール・学校ボランティアへの協力



【予想される効果】

多様化している現在の教育に対応できるよう、保育士、先生方の負担を軽減。PTA・保護者会の在り方を見直し、保育園・学校を中心とする地域に合った学校づくりにつなげ、茅野市ならではの未来に向けた特色のある教育を実現する。

アンケート班のアイデア その④

課題

- ① 子育てと仕事の両立が難しい
- ② 経済的・環境的に子育てしていくことが苦しい

行政 現状の子育て家庭にあった学校・保育制度の柔軟な対応

どん 地域住民への子育て世代の意識変化の啓発

市民 子育て世帯への地域活動の応援、企業の理解協力

アイデア



【予想される効果】

子育てと仕事の両立が難しくなっています。現在の子育て中の置かれている現状を、社会全体で理解し、支えていく環境を地域住民と考えていく、支えられた家庭が子育て後、定住し支える側の人となれるよう市民意識の向上を目指し、子育て子育ての良い循環社会となる。

アンケート班のアイデア その⑤

課題

- ① 不登校や発達障害児など多様な子ども達への対応
- ② 子育てでの親御さんの孤立化

行政 多様な子どもへの教育の担保、相談窓口、情報の一元化

どん 多様な子ども達の現状問題点の理解、専門機関との連携

市民 フリースクール、こども食堂等への支援や運営

アイデア



【予想される効果】

不登校や発達障害児は増加の傾向にあります。そのような子ども、また家庭が孤立しないよう、寄り添った相談窓口の設置し、民間も含む居場所への支援を行う。学校も柔軟に対応し、主体性を育む教育をする。

報告目次

- 1 アンケート概要・属性
- 2 主なコメント
- 3 アンケート班のアイディア
- 4 第三次どんぐりプランへの反映事項



アンケートから見えてきたこと

子育て中の保護者や、当事者である子ども達の声が、支援や応援に反映する仕組みづくりが必要

子育てと仕事の両立から、職種や
家庭の事情など、多様な子育て・
教育にマッチした学校・保育環境、
施設、支援、市民の応援が必要

いままでの方向にとらわれず、
ニーズに合った柔軟な子育て応援
の体制が必要

家庭での子どもと向き合う時間
子どもの時間、様々な「時間」を
大切にする環境づくり

少子高齢化社会の中ではあるが、
様々な場面において、社会の一員
として、“こどもをまんなか”に
おいた施策がこのまちのミライを
作る



今回のアンケート実施の大部分は、富士見町の町議会議員渡辺葉さんの行った方法を参考にしました。葉さんにはアンケート作成など多くのアドバイスをいただき、ここにアンケート班一同感謝申し上げます。



知っていますか？
町が子育て世代の声を必要としていること

58人 **50.2%**

2021年に富士見町に生まれた子どもの数 2045年の65歳以上の町民の割合予想
*2014年までは毎年の出生数100人以上 *2020年は36.9%

このまま子どもの数が減り続けると・・・

- ・学校の統廃合が現実
- ・税収が減りインフラ維持が大きな課題に
- ・集落、田畑森林、産業の存続ができなくなる

アンケート回答はコチラ↓

■オンライン回答
■裏面に記載
どちらでもOKです。



町で子育てに関する
沢山のことが
どんどん決まっている
今、当事者の声を
届ける必要があります

裏面に記載して頂いた方は
この紙を配布した方にお返しください。

アンケートで集めたお母さん・お父さんの本音を町に届け
本当に子育てしやすいまちづくりに活かします。

高森で2人の子どもを
子育て中の母です。
元地域おこし協力隊・
総合計画審議委員として
町に声を届けます！

お問合せ先：
ふじみみんなの声
代表 渡辺よう
080-4810-0641



アンケート結果は役場に届け、
LINEでも一般公開します。
お友達登録をお願いします！

おしまい

